

中野の区議会だより

196 平成17年(2005年)7月17日 編集・発行 / 中野区議会

〒164-8501 中野区中野4-8-1
 電話 3228-5585 FAX 3228-5693
 Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
 ホームページ http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/



区議会ってどんなところ？(小学生の議場見学)

第2回定例会

中野区行政手続条例の一部改正など12議案を可決

区議会は第2回定例会で、「中野区行政手続条例の一部を改正する条例」など、区長提出11議案のほか、議員提出議案「地方議会制度の充実強化に関する意見書」を可決しました。

第2回定例会は、6月2日から6月15日まで開かれました。

議案の審議に先立って、初日から3日間、12人の議員が区政課題について、一般質問を行いました。

この定例会では、「中野区行政手続条例の一部を改正する条例」など計11件の区長提出議案を審議しました。そのうち7件を全会一致で、4件を賛成多数で可決しました。

また、議員提出議案の「地方議会制度の充実強化に関する意見書」を審議し、全会一致で可決しました。

陳情については、14件を採択し、17件を不採択としました。

陳情に対する討論

陳情の審査にあたり、次の議員が討論を行いました。
 警察大学校等跡地に防災公園街区整備事業等の手法で防災公園をつくることについて

賛成討論

池田 一雄

(審議結果 不採択)

介護保険制度の拡充をはかることについて

賛成討論

かせ 次郎

(審議結果 不採択)

@ 区議会各党派のEメールアドレス @

自由民主党・民社クラブ	jimin.nakanokugikai@mbg.nifty.com
公明党議員団	komei.nakanokugikai@mbg.nifty.com
日本共産党議員団	jcp.nakanokugikai@mbg.nifty.com
民主クラブ	min-ku.nakanokugikai@mbg.nifty.com
無所属の会	mushozoku.nakanokugikai@mbg.nifty.com
市民自治	siminjichi.nakanokugikai@mbg.nifty.com

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない
 求めない
 受け取らない

身近な区議会をめざして

中野区議会では、開かれた議会の実現に向け、さまざまなかたちで区民のみなさまに情報をお届けしています。

「ご希望の方は、区役所1階区政資料コーナーまで。」

区議会の傍聴

本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。傍聴を希望される方は、会議の当日、区議会事務局(区役所議会棟3階)で傍聴の手続きをしてください。

受付は会議開会の1時間前から、入場は30分前になります。本会議は定員100人(ただし、椅子席は先着80人)、委員会は定員15人です。本会議場や委員会室への携帯電話の持ち込みは禁止となっています。お持ちの方は、事務局でお預かりします。

区議会テレビ放送
 CTN(シティテレビ中野)で、区議会のテレビ放送を行っています。内容は、定例会での各議員の一般質問の様相などの録画放送です。

次回定例会の詳しい放送予定などは、決まり次第、ホームページに掲載します。

本会議録画ビデオ
 本会議を傍聴できない方のために、本会議の様子を録画

区議会ホームページ
 いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開いています。

会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。

http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/

【問合せ】区議会事務局 傍聴について

電話 3228 8870

その他 電話 3228 5585

主な掲載記事

区政をただす……………	2～5面
可決した議案・意見書……………	5面
陳情の審議結果……………	6面

第2回定例会

一般質問

区政をただす

防災対策に女性の視点を

公明党議員団 やながわ 妙子



新潟県中越地震における救援復興活動について、女性の視点が欠けているとの指摘があった。復興に関連する団体の要職に女性がいないこと、政策決定の段階で女性の参加が少ないことが原因だという。

区の防災会議の委員には女性が少ない。構成の変更が困難ならば、新たな発想で女性中心の防災の会議体を設置してはどうか。国は、男女共同参画基本計画の改定に際し、女性の視点からの防災・災害復興を盛り込むとしている。中野区も同様の考えを持つべきでは。



子ども総合相談窓口

区長 防災会議は、各防災関係機関の長が委員である。安心コーナーをつくり、パンフレットを配布するなどしてはどうか。子どもを乗せた自転車の事故が多く、子ども用ヘルメットの必要を感じる。着用推進のために、助成をしては。

区長 提案の場所を活用したパネル展示を。警察大学校等跡地は千二百本の樹木が生い茂る貴重な緑の空間である。また、中野・杉並両区民10万人の命を震災から守る防災公園にと、区民が強く要望している緑地である。しかし、警大等跡地の利用計画は、防災公園をわずかに1・5haに抑え、超高層ビルを立ち並べるものである。計画策定における住民参加は、はじめに区の方針ありきで進められた形だけのものでは無い。区長の考えは。

区長 中野駅周辺まちづくり調査検討委員会への公募区民の参加、地域説明会、区民検討会など区民参加の機会を確保してきた。区民の意見は十分に受け止め、計画を策定したものである。

区長 来年度以降もこうした状況は続くと考えており、待機児の解消に向けて、今後

野区の西北部に、中学校知的障害学級を設置する準備に入るべきでは。教育長 中学校の知的障害学級設置については、区立小学校の再編計画のほか、都や国の動向も踏まえながら検討していきたい。

区長 社会経済情勢の変化、社会的合理性の観点などから、12手方向で検討している。福利厚生事業の実施にあたり、事業主負担として補助金を支出しているが、区長会では、廃止を含めて抜本的な見直しに着手した。区の補助金についても、区民の理解が得られるよう検討する。

区長 各部門の自主性を高め、権限と責任を持ち柔軟に区政目標を達成するしくみとして事業部制を導入した。各部各担当ごとに顧客満足度を高める「おもてなし運動」を実施しており、こうした努力の積み重ねが、意識改革や事業部制を生かすことにつながるかと考えている。

学校再編計画(案)意見交換会

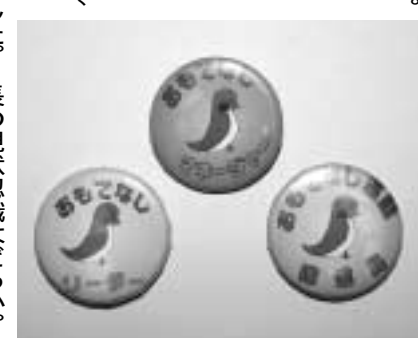
住民参加のあり方を問う 日本共産党議員団 池田 一雄

地域センターは廃止せず 住民と区の協働で運営を 自由民主党・民社クラブ 北原 奉昭

小中学校の 学力向上への取り組みは 自由民主党・民社クラブ 大内 しんじ



しらさぎ学級



おもてなし運動のバッジ

6月13日付で「TOKYO自民党中野区議団」が解散し、同会派の議員は、「自由民主党・民社クラブ」の所属となりました。

の学校跡地の活用方法は利用実態を鑑み検討すべきと思うがどうか。再編計画による子どもたちや保護者への影響を軽減するために、計画を前倒して実施してはどうか。

区長 今後の需要を踏まえた施設配置の検討に、指摘の視点を加えたい。

教育長 学校再編は初めて取り組む課題であり、着実に実施したい。中後期計画については、計画改定の検討時期を早めることも考えたい。

野方駅の整備状況は

南北からのバリアフリーおよび北口の開設位置の検討、西武鉄道との協議、用地確保の取り組みなどの現状は。また、区としてはいつ頃を目途に、着工時期や完成時期などの考え方を示す予定なのか。



区民の理解を得られる人事制度にせよ

民主クラブ 酒井 たくや

中野区には、特殊勤務手当が12種類ある。特殊勤務手当の定義が、著しく危険、不快、不健康であるなら、12種類すべてが適切ではなく、時代に合った運用が必要だ。区長は、特殊勤務手当を3種類にするとしているが、財政効果はどのくらいか。区は事業主として福利厚生事業を行う必要があるが、区民の理解を得られる事業とすべきだ。

整備内容や整備手法に関する協議を行っている。10か年計画策定時には、時期を明示できるように検討していきたい。

(仮称)区民活動センターについては十分な議論を

区は各地域で、「地域センター」(仮称)区民活動センターに転換する」と、まるで既に決定したことのように説明している。地域センターは区民生活に密接に係り、中野区自治基本条例でも区の計画立案段階での区民の参加が保障されている。今後どのように進めるのか伺う。

区長 意見を聞くにあたり、既定のようにとられる説明があったことは遺憾であり、適切な説明に努めたい。(仮称)区民活動センターは、議会や地域での議論を十分に踏まえながら検討していく。

区長 9種類の特殊勤務手当の廃止により、平成17年度予算ベースで年間約5千万円の経費節減になる。特別区職員互助組合についての抜本的な見直しは、大変重要な

な問題なので、早急に結論を出したい。生活保護世帯増加による影響と対策は

生活保護世帯は毎年増加しているが、今後の増加と将来予測について、どう考えるか。三位一体改革で、区の負担が4分の1から3分の1に増えるようだが、どのような影響があるか。ケースワーカーへのケアと配置についてどう考えるか。生活保護費の過剰給付や不正給付を見直す工夫はしているか。

区長 景気や雇用情勢の回復の遅れなどから、今後増加傾向が続くと考えている。区の負担が増えないように働きかける。被保護人員および世帯数が増加傾向にあるので、それに見合った職員配置は必要だ。また、組織として職員を支える態勢づくりを行う。定期的な訪問による被保護世帯の状況把握や関係機関との連携をもとにした調査活動を充実させていく。若者にとって魅力あるまちづくりを

中野区は、20代が人口の18・9%も占めている。この



成人のつどい

年代層は流動が激しいので、ずっと住み続けなくなる「魅力あるまちづくり」が求められる。そのことが、税収の安定、地域力の強化、防犯防災へつながると思うがどうか。



野方駅のバリアフリー化を急げ

無所属の会 近藤 さえ子

西武新宿線野方駅のバリアフリー化は、喫緊の課題であるにもかかわらず、手付かずの状態だ。駅の階段が上れず、隣の駅まで歩いたり、バスで野方駅まで行ったりと、電車を利用するために高齢者などは大変な不便をしている。今目の前にいる、困っている人を助ける手段を講じるべきだ。野方駅にかかわる取り組みの進捗が、区民に見えていない。説明会や区報などで伝えるべきでは。北口開設や連続立体化などは、実現まで時間も費用もかかる。当面の策として、西武鉄道にリフト(階段昇降機)の設置を要請しては。



沿線まちづくり勉強会

区長 沿線まちづくりの勉強会は、連続立体化の推進も含め、長期のまちづくり検討のために立ち上げられた。一方、北口開設は、差し迫っている踏切問題解決の短期的取り組みである。こうしたことを、区報なども活用して区民説明に努めている。北口開設とバリアフリー化の実現に向けて西武鉄道と協議し、区として具体的な検討を進め

れ、若者にとって魅力あるまちづくりをめざしている。また、若い人たちをひきつける中野のまちの魅力が、若い人たちの力で発信され、広まっていってほしい。

区長 若者の力が生かされ、若者にとって魅力あるまちづくりをめぐっている。また、若い人たちをひきつける中野のまちの魅力が、若い人たちの力で発信され、広まっていってほしい。

区長 沿線まちづくりの勉強会は、連続立体化の推進も含め、長期のまちづくり検討のために立ち上げられた。一方、北口開設は、差し迫っている踏切問題解決の短期的取り組みである。こうしたことを、区報なども活用して区民説明に努めている。北口開設とバリアフリー化の実現に向けて西武鉄道と協議し、区として具体的な検討を進め



新しい10か年計画の基本的な考え方を示せ

市民自治 はっとり 幸子

公共サービス全てを行政が担う時代から、官・民一体で展開する時代へと変化した。持続可能な地域社会づくりに向け、目標を定め、民間の資金や力を活用し、区民の力を

担い手不足が問題になっている。新たな担い手を育てるためには、補助金をつまく使わなければならない。区が真に補助すべき事業・活動かどうかの精査が必要だ。区で行っている補助金の見直しの視点は、我孫子市では、補助にあたって第三者機関の審査がある。中野区でも透明性や成長力など、新たな発想の補助基準を加えては。区民の自己責任に任せる前の実態把握と支援が、行政の大きな課題であると思うが、考えは。

区長 区民の公共・公益活動への期待が高まっている中、公共・公益の概念やその領域について、既成概念にとらわれず検討すべきと考えられる。区民団体は、自主・自立を原則としている。これを基本に透明性などを重視し、公平・公正な補助のあり方を追求していく。第三者機関のあり方も参考にしたい。資金面だけでなく、活動の場や情報の提供、人材育成などの支援も重要な要素と考える。

区長 沿線まちづくりの勉強会は、連続立体化の推進も含め、長期のまちづくり検討のために立ち上げられた。一方、北口開設は、差し迫っている踏切問題解決の短期的取り組みである。こうしたことを、区報なども活用して区民説明に努めている。北口開設とバリアフリー化の実現に向けて西武鉄道と協議し、区として具体的な検討を進め



中野駅周辺まちづくり整備の考え方を問う

公明党議員団 斉藤 高輝

中野駅や駅前広場の改善は、今後の中野区全体のまちづくりに関係する極めて重要な課題である。整備を進めるため、平成16年度に実施した委託調査の成果はどのようなも



ごみの収集作業

10か年計画は、これまでの長期計画とどう違うのか。

区長 新たに策定する10か年計画は、10年間の財政運営の見通しを立て、施策ごとに指標と目標値を設定し、その取り組みと成果を示す戦略的な計画であり、柔軟な施策展開を図り、実現可能な計画という点でこれまでの長期計画とは異なっている。

介護保険法改正への対応を今回の介護保険法改正の柱は、介護予防を重視する「新予防給付」だが、サービスが減るのではと不安に感じている受給者に対する区の対応は。介護保険サービス事業者は、改正後の介護報酬の予測がつかず、新規事業への参入準備ができていない。小さくても良心的できめ細やかな活動を行う事業所に対し、何らかの対応はできないか。

区長 ケアマネージャーや事業者、介護サービス従事者に改正内容を周知し、利用者が不安を感じないようにしたい。事業運営上必要な情報を提供するとともに、中野区介護サービス事業所連絡会などを通じて研修を実施するなどの支援を

区長 ケアマネージャーや事業者、介護サービス従事者に改正内容を周知し、利用者が不安を感じないようにしたい。事業運営上必要な情報を提供するとともに、中野区介護サービス事業所連絡会などを通じて研修を実施するなどの支援を



JR中野駅北口

区有施設の地震対策は

昭和56年以前に建築された区有施設で、耐震診断により危険性を指摘された施設は、全て補強工事が終了しているのか。その施設名を聞きたい。保育園では、普通ガラスに飛散防止フィルムを貼るなど、安全対策ができています。安全対策ができています。安全対策ができています。

昭和56年以前に建築された区有施設で、耐震診断により危険性を指摘された施設は、全て補強工事が終了しているのか。その施設名を聞きたい。保育園では、普通ガラスに飛散防止フィルムを貼るなど、安全対策ができています。安全対策ができています。安全対策ができています。

昭和56年以前に建築された区有施設で、耐震診断により危険性を指摘された施設は、全て補強工事が終了しているのか。その施設名を聞きたい。保育園では、普通ガラスに飛散防止フィルムを貼るなど、安全対策ができています。安全対策ができています。安全対策ができています。



区長の憲法9条2項 改憲発言を問う

日本共産党議員団 小堤 勇

は、対応を検討している。屋内の避難経路に面する箇所は、全て実施しており、その他の箇所も対策を進めている。内部障害者の支援と理解を心臓や肝臓など内部に障害がある内部障害者は、外見ではわからず、社会的認知が低い。その存在を視覚的に示す「ハート・プラス」マークの啓発活動を行ってはどうか。

区長は、戦力は保持しないとする憲法9条2項を変えてもよいと発言している。しかし、2項を変えることは、9条全体を破壊することだ。区長の考えは、変わらないか。9条は、アジア諸国への侵略戦争の反省の上につくられた。9条を守り、生かすことこそ、アジアの国々と信頼を築き、平和・友好の関係を確かなものにする道ではないか。

区長 プライバシーにかかわることもあるため、今後の動向をみていきたい。

30人学級の早期実現を都に求めよ。文部科学省の調査によれば、少人数授業は、習熟度別授業と比べ、学習面、生活面ともに評価が高かった。区教育委員会には、30人学級を実現する考えはないか。区は、23区の教育長会に対し、少人数学級実現を検討するよう求めるべきではないか。現在策定中の教育ビジョンは、40人学級を前提としているが、30人学級を見通したものとすべきではないか。



小学校の教室

会性を育成する観点から、賛同できない。教育長会では、少人数指導の充実を進めており、区としては、少人数学級の要望はしていない。教育ビジョンは、子ども達が、自立して社会の一員となることを目指して記述している。

点として将来整備してはどうか。教育長 第九中学校を区民のスポーツ活動の拠点としてつくることは、ひとつの有効な考え方だが、他のさまざまな活用の考え方もあり、区全体で検討している。

区民活動センターは再考を



学校にガードマンを配置し 児童・生徒の安全確保を

自由民主党・民社クラブ 小串 まさのり

学校への侵入者による傷害事件が相次ぐなどの時代背景もあり、学校における児童・生徒の安全確保については、保護者の関心や要望が特に高い。区では各学校に、さまざま、催涙スプレーを配置しているが、十分でない。渋谷区、港区などのようにガードマン

10年計画検討素材では、地域センターを(仮称)区民活動センターに移行し、地域団体から構成される運営委員会が管理・運営するとしている。地域センターには、地域の主人公である区民の声がいつでも反映できる「地域の区長室」としての役割があり、地域のさまざまな課題を解決する上で、地域住民、区長いずれの側にも貴重で重要な役割を果たしてきた。地域センターの、「地域の区長室」としての役割を今後どうするつもりか。改革とは、今より良くなるものとして区民の理解が得られるものでなければならぬ。今日まで培われてきた町会などとの関係を検証し、「地域の区長室」の観点から、地域センターの今後のあり方について再考すべきでは。

区長 地域の声を区政に反映するパイプ役としての機能は、今後運営方法が変わっても区職員を配置して確保する方向で検討している。地域の活動拠点の具体的な運営形態については、地域の皆さんの意思に基づいて柔軟な運営ができるよう、地域の意見を踏まえて検討する。

区長 入園予約制度については、メリット、デメリットがあり、また、各保育園の入園状況も見極める必要があり、今後の課題としたい。区民・事業者の知恵を生かす入札制度を

区役所一帯の有効避難面積の根拠は

第九中学校はグラウンドや温水プールなどが整備され、中野駅に近く交通の便も良いことから、地域スポーツ施設として魅力的である。もみじ山周辺には、公園、図書館、ホールなどもあり、文化・スポーツの一大拠点として将来整備してはどうか。

今年4月に次世代育成支援対策推進法が施行された。中野区の合計特殊出生率は0.7人が台が続いており、女性が生涯で1人の子どものみを持つことさえ難しい現状がうかがえる。少子化対策としての区民支援が必要である。現在、区立の保育園は親が働いていないと入れない。これでは、安心して子どもを持つことができない。板橋区には、産休・育休の復職支援として区立保育園の入園予約制度がある。区でもこの制度を導入し、働く保護者の支援のため、復職の際の優先基準を設けてはどうか。

区長 入園予約制度については、メリット、デメリットがあり、また、各保育園の入園状況も見極める必要があり、今後の課題としたい。区民・事業者の知恵を生かす入札制度を

01年の土地利用転換計画と比較して、中野駅周辺まちづくり計画での区役所一帯の有効避難面積がどのように確保されるのか分かりやすく説明を。

区長 01年の計画案の後、02年に都の避難圏域の見直しがあり、今回はこれに昼間人口の増加による必要な面積を加味したものを有効避難面積

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。

区長 健康維持や社会参加に役立つ施設が商店街にできることは、今後のまちの活性化という観点からも望ましい。この事業の発想を取り入れて検討していきたい。



広域避難場所の標識



少子化対策としての産休・育休の復職支援を

無所属の会 奥田 けんじ

区長 現在も建築工事や道路工事などについては、金額によって契約内容などを公表している。今後は、委託や物品購入などの契約についても公表できるよう努めたい。区役所一帯の有効避難面積の根拠は

区長 入園予約制度については、メリット、デメリットがあり、また、各保育園の入園状況も見極める必要があり、今後の課題としたい。区民・事業者の知恵を生かす入札制度を

区長 入園予約制度については、メリット、デメリットがあり、また、各保育園の入園状況も見極める必要があり、今後の課題としたい。区民・事業者の知恵を生かす入札制度を

としたが、建物の配置によつては、有効避難面積が、さらに拡大することもある。



教育の緊急課題解決に向け意識の改革を

自由民主党・民社クラブ 篠 国昭

子どもたちのゆがんだ成育環境を是正するためには、教育委員会と子ども家庭部との連携による鋭い施策展開が必要だ。子育ての合理化、効率化政策を見直し、親・教師・行政が「人としての道」を求める意識改革こそが、教育の緊急課題だ。区は具体的にとどのような施策を考えているか。



西武新宿線鷺ノ宮駅踏切

教育長 人としての基本的な生活習慣、規範を子ども身に付けさせるには、特に幼児期における家庭での教育が大切と考えており、「コミュニケーション能力の育成が重要である。家庭教育支援のため、区長部局との協力、学校・家庭・地域との連携の中で施策を進めていく。また、教育ビジョンには、家庭の責任、幼児教育や規範意識についての記述を盛り込んだ。

の理解は。現行の男女共同参画基本計画行動プランでは小中全校での男女混合名簿の実施を掲げているが、次期改定の際に再検討する考えは。区長 定義が明確でなく、誤解や混乱が生じる恐れがあるため、男女共同参画基本計画行動プランでは、この言葉を使用していない。教育長 教育指導上支障がないかぎり、作成を指導する考えである。

ジェンダーフリー教育や、男女の性差が厳然とある中、「区別が差別」という概念の誤用である男女中性化プログラム、生命への根源的敬意の欠落した過激な性教育には賛成できない。ジェンダーという言葉の定義についての区

都の踏切対策基本方針では区内の西武新宿線全線が鉄道立体化の検討対象区間に抽出されたが、区の整備目標は、区長 着々と検討を進め、区内立体化の目的をたてたい。期限を区切った地区計画を上鷺宮地域の地区計画完

意見の分かれた案件(第2回定例会)

Table with columns for item name, council member count, and voting results (賛成, 反対, 出席, 欠席). Includes items like '第23号陳情 警察大学校等跡地の広域避難場所及び環境について'.

会派および議員数は、6月6日現在(議員数は議長を除く) 会派の略称 公明:公明党議員団、共産:日本共産党議員団、T自民:TOKYO自民党中野区議団、自・民:自由民主党・民社クラブ、民主:民主クラブ、無所属:無所属の会、市 民:市民自治

Table with columns for item name, council member count, and voting results. Includes '区長提出議案' and '第29号陳情 中野駅周辺まちづくりの推進について'.

会派および議員数は、6月15日現在(議員数は議長を除く) 会派の略称 自・民:自由民主党・民社クラブ、公明:公明党議員団、共産:日本共産党議員団、民主:民主クラブ、無所属:無所属の会、市 民:市民自治

第2回定例会 可決した議案

了の目的は。中杉通りの具体的な整備見直しは。区長 地域論議を反映させた市街地整備計画案や地区計画案づくりに着手したが、決定まで2年は要する。優先整備路線に選定されたが、具体的な整備スケジュールは確定していない。早期の事業化を都に働きかける。

中野区行政手続条例の一部を改正する条例 「中野区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例」の制定に伴い、規定整備などを行います。

中野区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例 人事行政の運営および人事委員会の業務の状況にかかる報告および公表について、時期方法を規定します。中野区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例

申請の手続について、書面による手続に加え、オンラインによる手続なども可能とするための事項を規定します。中野区特別区税条例の一部を改正する条例 65歳以上の者のうち、前年の合計所得金額が125万円以下の者にかかる非課税措置の廃止および、公開株式の譲渡所得にかかる区民税の課税の特例の廃止などを定めます。和解及び損害賠償額の決定について 交通事故にかかる和解および損害賠償額を決定します。中野区浄化槽清掃業の許可及び浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例 民法の改正に伴い、規定を中野区資産活用福祉資金貸付条例の一部を改正する条例

中野新橋駅自転車駐車を新設します。中野区立少年自然の家条例の一部を改正する条例 常葉町の合併に伴う常葉少年自然の家の位置の規定を整備します。指定管理者の指定について 西鷺宮保育園における指定管理者を指定します。打越保育園における指定管理者を指定します。

第2回定例会 可決した意見書(要旨)

地方議会制度の充実強化に関する意見書 平成5年の衆参両議院における地方分権推進決議以降、地方議会を取り巻く環境は、大きく変化してきている。今日、三位一体の改革などが進められる中で、財政面での自己決定権が強まれば、それに伴い議会の執行機能に対する監視機能を強化し、自ら住民のための政策を発信していかなければならないのは

必然である。よって国におかれては、地方議会制度の規制緩和・弾力化はもとより、議長に議会招集権を付与すること、委員会にも議案提出権を認めること、議会に附属機関の設置を可能とすることなど、地方議会の権能強化及びその活性化のため、抜本的な制度改正が図られるよう強く求める。衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣あて

第1回臨時会 可決した議案

区長提出議案 一般廃棄物の収集運搬に使用する清掃車3台を購入します。清掃車の買入れについて

陳情の審議結果

陳情の審議結果をお知らせします。()内の数字は年です。

採択

- (16) 第14号陳情 警察大学校等跡地の立地を生かした防災公園について
全会一致
- (16) 第16号陳情 中野駅北口広場の存続について
全会一致

第2回定例会

- (16) 第19号陳情 警察大学校等跡地の開発利用計画について
全会一致
- (16) 第23号陳情 警察大学校等跡地の広域避難場所及び環境について(2、4項)
全会一致
- (16) 第30号陳情 中野駅周辺まちづくり計画について(2項)
全会一致
- (16) 第35号陳情 警察大学校等跡地利用について(3、4項)
全会一致
- (16) 第44号陳情 安全と環境重視の視点で、警察大学校等跡地の利用を進めることについて(1・2項)
全会一致
- (16) 第47号陳情 警察大学校等跡地の売却条件の再検討を財務省に要望することについて
全会一致
- (16) 第60号陳情 警察大学校等跡地の区画道路1号につながる区境に面した南北の道路等について(2・3項)
全会一致
- (17) 第1号陳情 警察大学校等跡地の再開発について(2項)
賛成多数
- (17) 第3号陳情 中野駅周辺まちづくりの促進について
賛成多数
- (17) 第6号陳情 警察大学校等跡地利用計画について(1項)
全会一致
- (17) 第11号陳情 「中野駅周辺まちづくり計画」について(4・5項)
全会一致
- (17) 第29号陳情 中野駅周辺まちづくりの推進について(1・4・6項)
賛成多数

不採択

- (16) 第23号陳情 警察大学校等跡地の広域避難場所及び環境について(1項)
賛成少数
- (16) 第30号陳情 中野駅周辺まちづくり計画について(1項)
賛成少数
- (16) 第35号陳情 警察大学校等跡地利用について(1・2項)
各項目とも賛成少数
- (16) 第36号陳情 「中野駅周辺まちづくり計画」の撤回などを求めることについて(1・2項)
各項目とも賛成少数
- (16) 第41号陳情 介護保険制度の拡充をはかることについて
賛成少数
- (16) 第44号陳情 安全と環境重視の視点で、警察大学校等跡地の利用を進めることについて(3項)
賛成少数
- (16) 第45号陳情 警察大学校等跡地に防災公園街区整備事業等の手法で防災公園をつくることについて(1・2・3・4項)
各項目とも賛成少数
- (16) 第46号陳情 「中野駅周辺まちづくり計画」の策定と住民投票制度について(2項)
賛成少数
- (16) 第56号陳情 警察大学校等跡地に、みどりの防災公園と総合グラウンド・スポーツセンターを建設することについて
賛成少数
- (17) 第1号陳情 警察大学校等跡地の再開発について(1・3項)
各項目とも賛成少数
- (17) 第6号陳情 警察大学校等跡地利用計画について(2項)
賛成少数
- (17) 第31号陳情 警察大学校等跡地の利用計画に関する慎重な審議などについて(1・3・4・5・6項)
各項目とも賛成少数
- (17) 第67号陳情 中野駅周辺まちづくり計画について(1・2・3・4項)
各項目とも賛成少数
- (17) 第69号陳情 「中野駅周辺まちづくり計画」の凍結について
賛成少数
- (17) 第105号陳情 高校生の就職支援及び進路指導のサポートについて政府(厚生労働大臣及び文部科学大臣)へ意見書を提出する事について
賛成少数
- (17) 第112号陳情 「中野駅周辺まちづくり計画」素案の警察大学校等跡地の利用について(1項)
賛成少数

閉会中の委員会の動き

平成17年3月～5月

- 総務委員会
4/25 報告16件を聴取
5/30 正副委員長を互選
- 区民委員会
4/18 陳情2件を審査、報告4件を聴取
5/30 正副委員長を互選
- 厚生委員会
4/21 報告9件を聴取
5/30 正副委員長を互選
- 建設委員会
4/18 陳情1件を審査、報告4件を聴取
5/26 第2回定例会の招
- 文教委員会
5/30 正副委員長を互選
4/27 報告7件を聴取
5/30 正副委員長を互選
- 議会運営委員会
5/10 第1回臨時会の日程などを協議
5/17 第1回臨時会の招
- 集日の確認や日程などを協議
5/19 第2回定例会の日程などを協議
5/26 第2回定例会の招
- 集日の確認や日程などを協議
5/30 正副委員長を互選
4/11 陳情102件を審査、要求資料2件を審査
4/22 陳情86件を審査
報告2件を聴取
5/9 陳情86件を審査
5/10 報告3件を聴取
基本構想調査・江古田の森整備特別委員会
4/25 報告3件を聴取

継続審査

- (16) 第56号陳情 警察大学校等跡地に、みどりの防災公園と総合グラウンド・スポーツセンターを建設することについて
賛成少数
- (17) 第25号、第109号、第121号
《総務委員会付託》

河川大会に参加

第43回東京河川改修促進連盟の総会および促進大会が、5月20日、八王子市民会館で開催されました。

この大会は、安全で水害のない水と緑豊かな潤いあふれる生活環境を創るために、河川改修の早期完遂と内水対策の早期実現を図ることを目的として開催されています。

中野区議会からは、各会派の代表者などが出席しました。総会では、平成16年度事業報告や平成17年度事業計画の議決などを行いました。促進大会では、国会・政府・都に対して、都内の河川改修の早期完成など治水対策促進を求める宣言を採択するとともに、総合的な治水対策の着実な推進と財源の充実などを求める決議を行いました。

取下げ

- (16) 第59号陳情 NPT再検討会議に向けて、政府への意見書提出と支持決議を求めることについて
- (17) 第27号陳情 中野駅前空地(トキョードーム3つ分 駅北西)について
- (17) 第122号陳情 絶対高さ制限の導入を検討することについて

第1回臨時会

取下げ

- (15) 第16号陳情 首都高速中央環状新宿線について、「工事の一部中断・見直し」を求める住民活動を支援することについて
- (17) 第10号、第11号、第13号、第16号、第17号、第21号、第24号、第26号、第28号、第29号、第30号、第31号(2項)、第32号、第32号、第49号、第55号、第57号、第60号、第64号、第66号、第67号、第71号、第71号、第93号、第95号、第97号、第101号、第103号、第104号、第106号、第108号、第110号、第111号、第112号、第110号、第113号、第116号、第120号、第61号、第63号
《文教委員会付託》
- (16) 第61号、(17) 第22号、第61号、第63号
《中野駅周辺整備・交通対策特別委員会付託》
- (17) 第119号
- (17) 第10号、第11号、第13号、第16号、第17号、第21号、第24号、第26号、第28号、第29号、第30号、第31号(2項)、第32号、第32号、第49号、第55号、第57号、第60号、第64号、第66号、第67号、第71号、第71号、第93号、第95号、第97号、第101号、第103号、第104号、第106号、第108号、第110号、第111号、第112号、第110号、第113号、第116号、第120号、第61号、第63号
《中野駅周辺整備・交通対策特別委員会付託》
- (17) 第119号

第3回定例会のお知らせ

次回の定例会は、9月に開かれる予定です。詳しい開催日程などは、決まり次第、中野区議会ホームページの「区議会からのお知らせ」の中に掲載します。

お問い合わせは、9月15日以降に、区議会事務局(電話3228 5585)まで

区議会だよりへのご意見、ご要望などは、**区議会事務局**まで

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 3228-5585 FAX 3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp